

## 令和2年度高齢者生きがいづくり・生活支援活動人材育成等事業 フォローアップ研修会 実施報告（HP版）

高齢者生きがいづくり・生活支援活動人材育成等事業実践講座等の受講者が、活動等を始める際の課題や実際の活動等で生じている課題について、情報の共有や整理、解決策等の検討を行い、今後の活動の推進や向上に資するため、グループワークと基調講演から学びました！今年度はコロナ禍のためオンラインも併用して開催。

前半のグループワークでは、2020年の各参加者の活動を数値化し満点にならなかった理由や改善点を検討。さらに、今後の活動に向けて、成功のための社会資源をヒト・モノ・カネ・情報手法にわけて整理していきました。後半の基調講演では、「住民が作る新しい創生と共生の地域づくり～誰一人取り残さない地域づくりを目指して～」と題し、川西町吉島地区で行った生活支援ニーズ調査の結果や進めている取り組み、デジタル社会においてデジタルを少し取り入れた生活支援の仕組み、普段の生活の延長で取り組める生活支援サービスのあり方等を学びました。最後に3名の講師から参加者への励ましのメッセージをいただき終了しました！



会場の様子



オンライン配信された講師の様子

ファシリテーター兼基調講演講師

NPO 法人きらりよしじまネットワーク事務局長 高橋由和氏  
アドバイザー

逢いの蔵共同代表 堀川敬子氏（実践講座講師）

NPO 法人ふれあい天童代表理事 加藤由紀子氏（アドバイザー派遣事業講師）

日時：3月18日（木）13時～16時20分

会場：遊学館（山形市内）・オンライン Zoom

参加：34名（オンライン参加24名）ほか見学者2名

\*\*\*\*\* 参加者 VOICE \*\*\*\*\*

- ・今後の活動に向けての羅針盤になりました。
- ・客観的に点数をつけて考えていくことで気持ちが整理できてよかった。
- ・新しい発想や連携がうまれる可能性を感じました。
- ・長いスパンでできることから始める。焦らず進んでいきます。
- ・久しぶりに他市町村の取り組みを聞くことができ新鮮な気持ちになりました。同じ活動をしている話を聞いてほっとしました。

※この事業は県の委託を受け実施しました。